

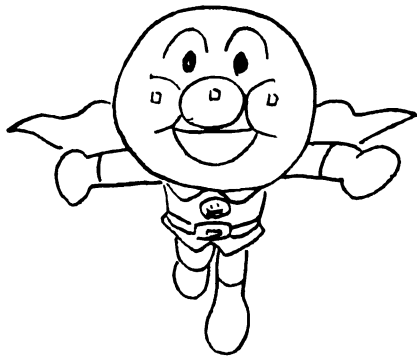
③ 正義って何だろう？

《小学校高学年・中学校》

アンパンマンで平和教育

子どもたちの大好きな正義の味方アンパンマン。

自分の顔を人に分け与え、ヨタヨタになりながら悪と戦う姿は、他のヒーローたちと比べるとずいぶん不格好に思える。しかし、そこには作者やなせたかしの「正義とは何か」という問いかけや「平和への熱い思い」が込められているのだ。



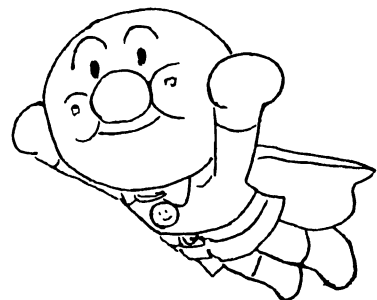
戦争体験がアンパンマンを生む

やなせたかしは1919年、高知県で生まれる。

東京高等工芸学校（現在の千葉大学工学部）図案科を卒業後、製菓会社に就職するが、第二次世界大戦の勃発にともない、徴兵され、小倉の野戦重砲連隊から中国戦線に送られる。激しい戦闘の中生きのび日本に返ることができたが、最愛の弟が海軍特攻隊員として死んだことを知らされ、悲しみに沈む。正義のための聖戦と信じて戦ってきたやなせたかしだが、敗戦と同時に軍国主義は間違いだとされ、占領軍に媚びへつらう人々を見て衝撃を受ける。「正義のための戦争などない」また、戦争で飢餓の苦しみを味わったことから「飢えた人に一片のパンを分け与えることこそ正義だ」と考えるようになる。

愛と献身のヒーロー誕生

1970年代になり、ウルトラマンやスーパーマンなどのヒーローものが大流行する。TVで活躍するヒーローたちが自分は全く傷つかずに、周りの建物を破壊しながら敵を倒す姿に、やなせたかしは疑問を抱く。正義の名のもとに力にものを言わせて解決するのではなく、「愛と献身」で人々を救うヒーローを描きたいと願うようになる。「自分を犠牲にしても他人のためにつくすことが、本当の正義だ」という思いから生まれたのがアンパンマンなのだ。



1. 授業案

(1) ねらい

- ・漫画家やなせたかしのアンパンマンに込めた思いを通して、「正義」の意味や、「平和」について考える。
- ・「正義」の名のもとに現在も続いている戦争や紛争について考える。

(2) 展開例

学習活動	児童の意識や活動の流れ	支援
1. 「正義の味方」と聞いて思いつくものをあげる。	・ウルトラマン、仮面ライダー、〇〇レンジャー、スーパーマン、スパイダーマンなど	・写真などを掲示して生徒の意欲を引き出すとよい。
2. 「アンパンマン」について知っていることを発表する。	・困った人を助けてあげる。 ・バイキンマンをやっつける。 ・お腹のすいている人に自分の顔をあげる。	・アンパンマンの絵を黒板に掲示する。
3. 「アンパンマン」と他のヒーローの違いを考える。	・ちょっと弱いところがある。 ・とてもやさしい。 ・アンパンマンは自分の顔をあげることで、人を救う。 (捨て身、献身の心)	・顔が欠けボロボロのマントを着たアンパンマンを掲示する。 【資料1】
4. 作者やなせたかしの経歴とアンパンマン誕生について知り、「正義とは何か」について考える。	・やなせたかしがアンパンマンに込めた思いや、「正義」についての考えを理解する。	・資料を配付する。 【資料2、3】
5. 「正義」という名のもとに現在も続いている戦争や紛争について考える。	・イラク戦争で使われた「正義」について考える。 ・やなせたかしの主張する正義と比べ、自分の考えを深める。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">小学生の場合は、学習活動5を省略することも可能</div>	・イラク戦争の資料や写真などを提示する。 【資料4】

【資料1】



初期のアンパンマンは背が高く大人の体型。今とずいぶん違っている。読者である幼い子どもたちにあわせて、現在のような二頭身のかわいいアンパンになった。マントのつぎはぎや顔の欠けた様子もはっきりわかる。



(あんばんまん フレーベル館)

【資料2】

子どもたちとおなじに、ほくもスーパーマンや仮面ものが大好きなのですが、いつもふしぎにおもうのは、大格闘しても着ているものが破れないし汚れない、だれのためにたたかっているのが、よくわからないということです。ほんとうの正義というものは、けっしてかっこうのいいものではないし、そして、そのためにかならず自分も深く傷つくものです。そしてそういう捨身、献身の心なくしては正義は行えませんし、また、わたしたちが現在、ほんとうに困っていることといえば物価高や公害、飢えということで、正義の超人はそのためにこそ、たたかわなければならないのです。

あんばんまは、やげこげだらけのボロボロの、こげ茶色のマントを着て、ひっそりとはずかしそうに登場します。自分を食べさせることによって、飢える人を救います。それでも顔は、気楽そうに笑っているのです。

(あんばんまん やなせたかし フレーベル館)

【資料3】

・「現在でも世界中で戦争は続いているが、Aの国とBの国は両方とも自分の方に正義があると主張している。Aの正義とBの正義は逆なんだ。正義の美名で殺人が許されるのは間違いで、もちろん原爆なんかはどんな理由があっても許されない」

・「ぼくが求めている正義は何かと考えると、それは原則的にはAの国でもBの国でもひもじい人を助けることだと思った。だからアンパンマンは自分の顔をちぎってひもじい人に食べさせる。たとえば自分が傷ついても！」

(アンパンマンvsアンパンマン やなせたかし 戸田恵子 フレーベル館)

「敗れたら変わってしまうような正義は正義ではない。正義は目の前で死にそうな人がいるならば、一片のパンを与えることだ。」

(アトムポケット人物館 やなせたかし 講談社コミックス)

【資料4】

アメリカは、イラクを「悪の枢軸」と批判し、イラクへの攻撃を「正義のため」、「イラクの人々をフセインの抑圧から解放するため」のものだという。しかし、その正義とはイラクの人々にとっても同じ正義といえるのだろうか。

(ぼくの見たイラク戦争 高橋邦典著 ポプラ社 冒頭に書かれた言葉)